

今号のわだい

- 【1面】徳厚労看護委員会の取組み 台風19号被害への支援を
- 【2~3面】幹部・看護師集会in仙台 憲法いのち守る国民集会

全厚労ニュース

全 国 労働組合連合会
 厚生連

〒110- 東京都台東区入谷
 0013 1-9-5
 TEL 03-3874-3591
 FAX 03-3874-3593
 発行日 毎月20日 定価 30円
<https://www.zenkouro.org/>

「働き続けられる看護職場」へ まずは学習、啓発グッズで意識付け

徳島県厚生連労組(徳厚労)の看護委員会では、この数年間、時間外労働の請求運動を始めとして、8日夜勤協定遵守などの「働き続けられる看護職場づくり」の実践を強めています。

先駆けて「時間外労働の手引き」作成

徳厚労看護委員会では、5年ほど前に、「なくそうただ働きの手引き」を作成しました。この手引きは、全厚労作成の「手引き」の基にもなったもので、厚労省が出した「適正な労働時間管理のために使用者が講ずべきガイドライン(1・20通達)」が出る以前にまとめられたものです。当時の看護委員長が中心になり、原案を作って看護委員会で話し合い、冊子にしました。その手引きを使って各支部での勉強会を、できるだけ多くの看護師が参加できるように、日時を変えて複数回開催してきました。

オリジナルグッズで意識付け

その甲斐あってか、徳厚労では「サービス残業」も前年より約20分短縮し月平均3時間程度(19春闘アンケート)での看護職を含む全職員集計)までに年々減ってきています。

オリジナルグッズ

時間外申請でネックになっていたのが、「面倒な時間外申請用紙の記入の仕方。記入欄が4箇所あり、勤務パターンで記載箇所や方法が定まっているので、間違えにくいように「時間外請求の記入例」をカードにして例示しました。時間外申請だけの情報だと日頃携帯しなくなってしまう可能性

組合活動費をどう活かすか

看護委員会の予算は年間90万円(19年度)で、会議の他、看護集会、グッズの費用に充てています。「活動費をどう有効に活かすか」ということも委員会のメイン議題です。今年秋は、50歳以上の看護職員を集めて、「55歳以降一時金

があるので、看護委員会で検討し、カードの片面には、グラスゴー・コーマ・スケールを記載して、常に携帯を意識づけられるようにしました。

台風19号被害への支援カンパを

台風19号は10月12日~13日にかけて、東海~関東~東北の広域に渡り、強大な風と多量の雨によって、甚大な被害を各地にもたらしました。死者・行方不明者合わせて3桁に迫る勢いで、特に河川の氾濫や土砂崩れなどで、交通網の遮断や停電・断水なども続いています。

お亡くなりになられた方へ哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

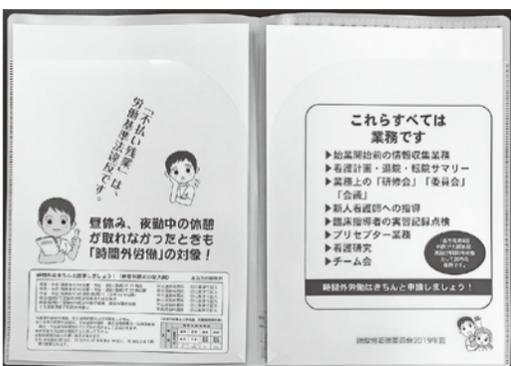
全厚労加盟組合では、現時点で人命にかかわる被害は報告されていませんが、被害の大きかった長野、茨城、福島、新潟で、床上浸水や床下浸水がかなりあると見られる他、車の水没などの被害もあります。また避難者も多く、まだ被害の全容は判明していません。今後も多くの被害報告が出されることが想定されます。

現在、被災者支援カンパを加盟組織へ呼びかけています。全厚労は今年度、「災害支援会計」を立ち上げました。集まったカンパと合わせて、被災者に支援金を支給していく予定です。各労組でも取り組みが進められているかと思いますが、組合員のみなさまのご協力をお願いします。

支援カンパ振込先

※新たに立ち上げた「災害支援会計」口座です。

中央労働金庫 荒川支店 (311)
 口座番号: 普通預金 158095
 名義: 全厚労 中央執行委員長 畑中剛喜
 (ゼンコウロウ チュウオウシッコウイインチョウ ハタナカコウキ)



時間外請求の記入例を記載



2年前の春闘看護師集会

用を充てています。「活動費をどう有効に活かすか」ということも委員会のメイン議題です。今年秋は、50歳以上の看護職員を集めて、「55歳以降一時金

看護職場改善へポテツカ=活用しよう

この仕事 続けたいので 休みます

石給休暇は私の権利!

全厚労では、日本医労連が作成した「看護改善ポテツカ」4種を、職場に掲示しやすいようサイズダウンをして増刷することにしました。「月8日以内夜勤」「勤務間インターバル」「年休取得」を要求して、「少女マンガ風」の訴えで、見る者への訴求力は抜群です。ぜひ活用下さい。

夜勤・長時間労働は「酒気帯び」レベル!

夜勤日8日以内を守らせよう!

看護・介護労働者の安全と健康が守られます。

家でゆっくりしたいのよ

夜勤日8日以内を守らせよう!

看護・介護労働者の安全と健康が守られます。

もしや職場に私たちが住んでるとでも思っています?

勤務と勤務の間は、最低12時間!

看護・介護労働者の安全と健康が守られます。

「働き続ける」をみんなで考えよう

第33回幹部・看護師集会

10月11日に宮城県仙台市で、全厚労第33回幹部・看護師集会を開催しました。2日間の開催予定でしたが、関東甲信越を中心に記録的な大雨となった台風19号接近に伴う交通機関の乱れの影響を考慮し、1日のみの開催となりました。集会直前でのスケジュール変更や、交通機関の影響などで参加者の大幅減等もありましたが、シンポジウムや分散会を通して各県や他組織の看護現場の運動や取り組みを学びあう時間となりました。シンポジストの報告の抜粋と、3面で分散会のまとめを掲載します。



佐々木司氏

広厚労 週休3日制度の試行



左・岩本一宏氏、右・村上智哉氏

今回のシンポジウムのテーマは「働き続けられる看護職場づくりのために」とし、コーディネーターとして労働科学研究所の佐々木司氏をお招きしました。シンポジストとして、広厚労より岩本一宏執行委員長と村上智哉（ともか）さんが「週休3日制度の試行」について、全労災より黒木博美中央執行委員長が「夜勤制限の闘い」について、全日赤からは五十嵐真理子中央執行委員長より「ハラスメント対策」についてそれぞれ報告をお願いしました。佐々木氏より、「全国のグットプラクティスを見つけ持ち帰ってほしい」と会場に呼びかけ始まりまし

た。日々の子育てと夜勤の伴う仕事との両立、上司

の心無い言葉から退職を考えるようになっていた時期に、この制度の募集があり取得しました。制度取得後1年半経つが、有給やリフレと組み合わせると週2〜3日の勤務になり連続勤務が大幅に減ったこと。1〜3日勤務すれば休みというサイクルなので夜勤の前後も必然的に休みがあり、自分の時間が取れるようになりました。私自身も今しかできない子育てに重きを置いて過ごすことへの満足感があります。課題としては、病棟の変化や情報のキャッチ不足、日勤数より夜勤が増える月もあること、日進月歩の医療現場で周りのスタッフとのスピード感のずれからの孤独感、休日の取得が通常勤務者より取りにくくなったことなどです。

退職や転職を考える人には一度週休3日制度を試してもらいたいです。

私たち取得者は満足して、制度を継続して利用しています。今後もこの制度が定着し働き続けられる職場作りになることを願っています。

全労災 夜勤制限の 闘いと歴史



黒木博美氏

看護師は夜勤をするのが当たり前で、夜勤してたくさん給料をもらって、というのが世間一般の考え方として普通です。それに加え、夜勤中に患者さんは寝てると思っていないです。患者さんは寝ていないですよ。それが一般の方や会側もわかってないんです。

そんな職場に夜勤協定を取るために、看護師の2人を3ヶ月間限定で専従化し、「なぜ月8日の協定が必要か」を各支部へ説明をしに回りました。その報告書が現在の看護闘争ニュース「ひだまり」の前進のAMJニュースです。そして、署名に取り組み、10月に大衆交渉で提出すると中執で決議しました。署名は1人100筆を目標にし、1ヶ月で10万筆集めました。

団交では、「収支」という言葉と、「最大限努力」という言葉を聞き飽きるほど聞きました。署名提出から毎週のように団交を行い、時間帯によっては看護師だけで交渉したりと粘り強く3交替で44時間団交をしました。その結果、月8日以内の本協定をやっと取ることができました。夜勤協定遵守までに5年間猶予期間を設け、夜勤制限とともにそれに見合う増員を行わせました。

要求の実現には組合としてストライキを構えて要求を行うことが重要です。職員からは、「なんでこんな時にストライキ？」など、いろいろな声が出ますが、労働者にとつて最高の権利なんですよ。ストライキは「決行」に意義があるのではなく、「準備」することに意義があるんです。準備はとも大変です。しかし、保安要員何人出すのか、夜勤どうするのか、救急とめるのか、オベどうするのか、検査をどうするのか、それを全部病院側に考えさせます。「私たちはストライキを行います」と通告し、では病院側はどのような準備をするんですかと問い準備させます。それをしたくなければ私たちの要求を聞いて協定を結んでくださいとなるわけです。

看護師の夜勤改善や労働条件改善を実現するには全労災だけの行動ではだめなんです。医療全体

の運動へ闘いの輪を広げ、看護師全体で言い続けていくことが大事だと思えますのでこれからもご協力をお願いいたします。

全日赤 ハラスメント対策



五十嵐真理子氏

今ハラスメントが社会問題になっているのはご存知だと思います。全日赤の本部にもたくさん相談がきます。国のハラスメント対策の経過は、2007年の改正男女雇用機会均等法施行時に、セクハラ防止のための措置が事業主に義務付けされましたが、その後ハラスメントの法規制はありませんでした。今年の5月に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の一部を改正する法律が初のパワハラへの法規制となりました。20年の4月より施行されます。

日本赤十字社は、2007年に「ハラスメント防止規程」を作成。2011年には「職場のいじめ・嫌がらせ問題に関する円卓会議」を受け、2016年に社長が「トップメッセージ」を発売しました。

なぜ職場のハラスメントが問題なのか、それは①職員への影響、②施設への影響、③その他コンプライアンスや法規、就業規則上に問題があることがあげられます。厚労省が24年に行ったパワハラ実態調査では、パワハラの影響として、「職場の雰囲気が悪くなる」97・1%、「従業員の心の健康を害する」95・5%、「従業員が十分に能力を発揮できなくなる」85・3%と、いかにハラスメントが職場に悪影響を及ぼすが書かれていくわけです。

ハラスメントの相談を受けた相談員は、事実関係の確認、関係者から事情聴取、施設長へ報告、ハラスメント委員会の設置、答申発出、対策の実施という流れです。しかし、相談員自身が事務方の課長や、ハラッサーだったりするので、組合は第2の相談窓口を作れと継続して要求し、今年の6月にできました。月に40件ほど相談が来ているそうです。

相談を受けた場合は、時系列で記録することが重要です。最近一番難しいと感じていることは、組合に相談してくる時点で相談者はぎりぎりの状態で、時系列がばらばらだったりします。ハラスメント以外の要因がある場合もあるのでICレコーダーも活用し丁寧に対応しています。相談者の事実関係確認のために目撃者を探し、真実をつか

むことが重要です。ハラスメントの相談を受ける組合幹部のフォローも組合全体で行う必要があります。

今、職場のゆとりが無いことが一番問題だと思います。患者さんの小さな変化や急変への気づき、新人さんの成長を助けることも、ゆとりがあるからこそできることだなど思っております。そういう職場を目指して共に頑張っていきたいと思っています。

迫る看護師不足は 主張を貫くチャンス

シンポジストの報告の後、グループディスカッションや質疑応答を行いました。最後にコーディネーターの佐々木氏より、「2025年は看護師が不足すると政府も業界団体も言っている。今それはチャンスだと思います。労働条件を改善して、自分たちの主張を貫くというチャンスです。今日は週休3日、夜勤協定、ハラスメントという種類の違うテーマでした。ひとつの問題に固執すると手に入らないことも多いので、やれるところから対策を立てていくというのが、看護師が定年まで元気に働けるといいうひとつの方策だと思っております。これからも大いに議論していきましょう」と会場で意思統一を行いました。

要求実現に向けて みんなで動こう

濃縮した 分散会に

分散会では①急性期外科、②急性期内科、③急性期内科・地域包括、④回復期・療養・精神、⑤外来・

オベ室・訪問看護に分かれ、模造紙や「要求の分析とアクション」シート（資料1）などを使ったグループワークを行いました。台風19号の影響で全体会・分散会ともに

前に「定時で変えるには何が必要だと思いますか？」「年休の取得で問題に感じている事はありますか？」といった設問の自己分析シートを記入してもらい分散会への導入としたり、グループやテーマをひとつに絞って進めるなど、全厚労看護委員会より工夫した分散会となりました。

職場の要求を ひろげて

1日のみの開催となり、分散会参加人数も減ってしまいましたが、事

分散会後の夕食交流会では、看護委員や参加者

から分散会のまとめ報告が行なわれました。第3分散会では「職場の良い所・悪い所」をあげて、組合活動にどう生かすかについて分散会で考えました。職場の良い所に10対1の看護体制があること、助手さんが多くいることなどがあげられ、悪い所では包括ケアでも急性期と混在していること、有休が一日も消化できていない事などが挙げられました。まとめに「やはり働く人が大事。給料アップ・労働条件の改善のもと組合活動を頑張っていく」と決意表明しました。

第4分散会では年休取得や、働きやすい職場の環境作りについて、年休をスタッフの立場では消化したいが、管理者側や患者の安全を考えると消化のノルマを負担に感じているため、マンパワーが必要なことや、自分の年休の残日数を知らないスタッフが少なく、年休取得の意識向上につながるような学習が必要なのとが話されました。発表の最後に、「色々な県の職員が集まって話す機会が少ないので自分の思いや、年休について語れて良い場になりました」との報告がありました。

憲法・いのち・社会保障を守る

10・17国民集会

第5分散会も年休についてテーマを絞り話し合い、残業請求をしつかり行なうことや、「自分達の

の権利を知って、後輩に知らせ、実際に使っていく」そのサイクルをする

ことにより、権利や生

10月17日、日比谷野外音楽堂で10・17国民集会が行われ全国から2500人が参加。全厚労からも32名が参加しました。集会のメインは多くのメディアや作家として有名な室井佑月さんのトークショー。司会からのインタビュー方式で行われ、ご自身の闘病生活で感じた地域医療の重要性や、病院とのかかわりについて経験を交え話していただきました。病院が大好きでほっとするという室井さんは、日本の政治に対してもメディアでさまざまな発言をするなど注目されていますが、この日も、「仲間をたくさん集めて闘うこと」、「勝つまで闘うこと」を勝つまでです。勝つまで闘えば勝ちですから」と言い、さらに「正しいのはこっち側です！」と会場に檄を飛ばしました。室井さんの登場で盛り上がった集会は、そのまま国

議院挨拶、リレートークへ。安心・安全の医療・介護とは逆行する政策と

して、安倍政権が2021年度に要介護1、2の生活援助サービスを介護保険対象から外すことへの批判が相次ぎました。銀座パレードでは参加者が思い思いの宣伝物を掲げ行進。全厚労は青年が音楽にのせ、軽快にシユプレビコールを行うウインドカーと一緒に「医療費の抑制やめろ」や「年休は私のもの」というプラカードを掲げ行進しました。

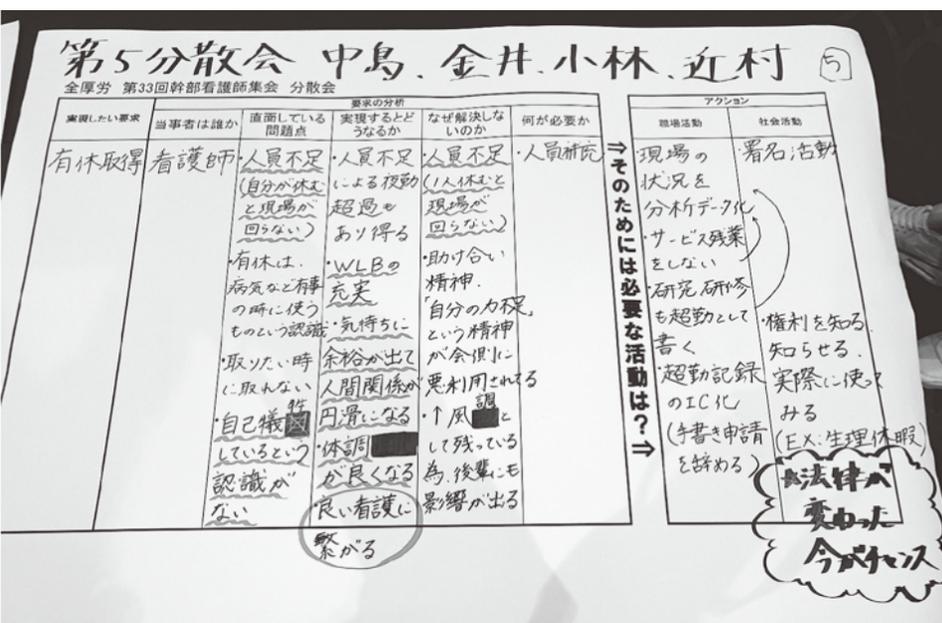
トークショー中終始笑顔の室井佑月さん



グループの発表を聞く参加者



自分達の要求をシートに書き出していく



(資料1)「要求の分析とアクション」シート



会場を埋め尽くす「いのちを守る」プラカード

頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第146回は福島と岐阜をお願いします。



福島 舟木一夫さん

福島県厚生連で診療放射線技師として働き21年目を迎えました。昨年度より福厚労の中央執行委員として活動しています。中執として勉強不足なことも多く、先輩方に助けられながら組合活動に取り組んでいます。労働条件改善に向けて微力ながら頑張っていきたいと思っています。

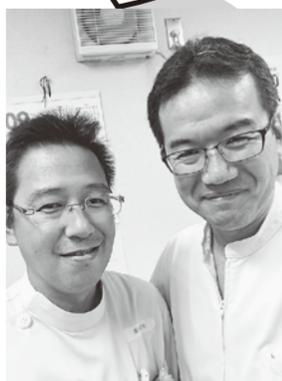
最近、ハマっていることは魚釣りで、始めは息子にせがまれて釣りに行っていたのですが、気付けば自分もハマってしまい、休みの日は暇があれば息子と海へ出かけ、のんびり釣りをして過ごしています。どこかで見かけた際は気軽に声をかけて下さい。

今回、ご紹介させて頂くのは、岐阜が世界に誇るマジシャン高木さん(左)...の横にいるここ数年でかなりサイズアップした岡村さん(右)です(なんとここ2年くらいで10kg程の増加とのこと)。

労働組合では、入職2年目に県青年部長として全国の青年委員も併任し、その後は県書記長、執行委員長まで歴任されております。活動では、「知って、知らせて、組織する」ことをベースに特に情宣活動に多くのご意見とご協力を頂いております。

プライベートでは旅を愛し、その土地での出会い「縁」を大切にしてみえるようです。旅では、特にお風呂(温泉)に関して、多くの組合員も被害(?)にあっていますが、露天風呂での語りは1時間超えは当たり前、早朝からたたき起こされ入浴もありありです。

しかしながら、地域医療を思う気持ちは誰にも負けず、常に笑顔でポジティブに突き進んでいく姿は他の組合員の追従を許さない方です。いつまでもその熱い気持ちをもち続けていただきたいです。



岐阜 岡村秀人さん

読者の声

週休3日制試行についての記事、興味深く読ませていただきました。多少給料が下がったとしても、試す価値ありなのは個人の時間、生活を大切にすることで仕事に対する向き合い方が変わったり、余裕がもてると思います。(北海道)

— 色々な制度を作ることで職防止につながる可能性があります。自分たちのために、常に試行錯誤です。(KU)

8月号では私の県の富厚労の記事が載っていました。執行部の皆さんのお陰で、徐々に労働条件が改善されているように思います。ありがとうございます。(富山)

— 抱える課題は異なりますが、各県連の活動は参考になりますね。働きやすい職場環境を目指して労組活動を頑張っていきたいと思います。(KS)

— 度々各県とも苦闘しながら頑張っているのを聞いて、自分たちも今年一年頑張ろうとの決意を新たにしています。(徳島)

— 多間にもれず、当院の看護師不足も深刻です。毎日、副看護部長までかり出され、スタッフの足りない部署へ人員を調整して手伝いに行き、なんとか毎日やっています。まさに綱渡り状態です。(長野)

— 人手不足は深刻な問題ですね。働きやすい環境や患者さんへ手厚い看護が提供できるような、粘り強く経営者へ訴えていきたいと思います。(SN)

聞かせて・教えて!のコーナー

☆8月号で募集した「聞かせて・教えて」の結果発表☆

質問1 8月号で一番興味があった面は?

1面「原水禁世界大会」が13票で最多、次いで2面「各県・頑張っています」が12票。1票差でした。2面の各県の取り組み紹介は、中執でも反響が良く、教宣部でも、各県の取り組みにスポットを当てて記事を構成していく方向で考えています。

質問2 秋にキャンプ!あなたならどこへ?

「山」が17票で一番人気!次いで「川・湖」が13票でした。最近はキャンプが若者を中心に再燃していて、野外フェスや、アウトドアファッションなどの人気と相まって、もっと盛り上がりそうですね!これからは「体験型」の時代ではないでしょうか?

さて、今回の「聞かせて・教えて!」は

質問1 10月号で一番興味があった面は?

A=1面 B=2面 C=3面 D=4面

質問2 春闘への意気込みをお願いします。

「読者の声/意見・要望」欄に、「春闘への意気込み」と記入してから意気込みを書いていただき、はがきまたは投稿サイトから投稿をお願いします。読者の声と合わせて投稿していただけます!!

右のQRコードから全厚労ホームページを開き、「資料・データ」のページから過去の全厚労ニュースを見る事が出来ます。



クロスワードの投稿もQRコードからできます。氏名・住所・希望景品(図書カード又はクオカード)は必須事項です。投稿数に応じてポイントが貯まります。今年度からハガキでもポイントが貯まります☆

スマホからすべて投稿できます★



教宣部のつぶやき

「I-T時代 すい!!」H ey Siri!! を使った。長いことiPhoneユーザーだったけど、古い機種を使っていたせいか、「使えない」という印象だった。新しい機種にして印象は新。本当に便利。これから医療・介護や、ほぼ全ての分野で更なる技術革新が起るのでも、兵器としてだけはやめてほしい。「核」とは違い平和利用可能な分野なのだから。(OK)

ザ★クロスワード

出題▶モロゾミ勝

1	2	3	4	5	6
C					A
7		8	9		
10	11			12	
13		14	15		
	16	17	18	19	
20	21	22	23		
24		25		26	27
28			29		F

答 A B C D E F

【問題】二重ワクの文字を、A~Fの順に並べてできる言葉は、なに?

■ヨコのカギ

- 建物の外に張り出した「縁側」
- 枯れて落ちます
- 苦……の策
- 河川敷などでサトイモの鍋料理を食べる行事
- 外国産の自動車
- ……の上にも三年
- 鶏肉入りの……ライス
- ……に交われば赤くなる
- 70歳です
- 苦しみと楽しみ
- 温度計の記号で℃は?
- 声をかけての応援です
- 種。……チョコレート
- 平城京の地
- 面目。……を立てる
- 日曜以外。……デー

- タテのカギ
- くれない色。口……
- いたずら描きのこと
- 高僧の敬称。弘法……
- トラの皮のフンドシをしめているとか?
- エレベーター記号はB
- 結婚をとりもつ……人
- 豆などを日光に当てないで発芽させた野菜
- 人の言葉をまねる小鳥
- 七五三の日に買います
- 行った先。……不明
- 蒸気で進む大きな船
- 陸上競技の走者
- 場面。ラスト……
- 職務変更。人事……
- 鳥獣の内臓。……焼き
- 苦あれば……あり